



GUNDAM-W  
*Endless Waltz*

MOBILE SUIT  
XXXG-00W0

# WING GUNDAM ZERO

MOBILE SUIT  
XXXG-00W0



XXXG-00W0  
「ウイングガンダム ゼロ  
(エンドレスワルツ版)」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

## WING GUNDAM ZERO

MOBILE SUIT XXXG-00W0



XXXG-00W0  
「ウイングガンダム ゼロ  
(エンドレスワルツ版)」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

BANDAI 2004 MADE IN JAPAN



0129454



# WING GUNDAM ZERO

A.C. (アフターコロニー暦)におけるMSは、もともとコロニー建設に際して開発された作業用動力付き宇宙服の名称だった。作業用の腕を持つ有人式の作業用機器全般が、MOBILE Suit ([Manipulatable Order Build and Industrial Labors Extended Suit=可動肢付き建設及び工業労働用拡充型(宇宙)服])と呼ばれていた。MSが現在のように巨大な“人型兵器”としての姿を手に入れたのは、ロームフェラ財団がMS開発に本格的に乗り出して後、OZの設立以降のことであった。巨大な“人型機動兵器”は、以前から度々提案されており、コロニー建設用MSの開発を通じ、技術的にはすでに実現可能なものだったが、“それ”を必要とする紛争などの政治状況、要するに“市場”が存在していなかったのである。しかし、ロームフェラ財団が“市場開拓”に乗り出したことにより状況は一変する。いくつかの試作を経て、全てのMSの始祖とも言える“トルギス”が開発された。しかし、各種機能を限界まで追及したトルギスは、兵器としては破綻していた。その機動性と運動性は、人間の身体機能の限界を超えていたからである。

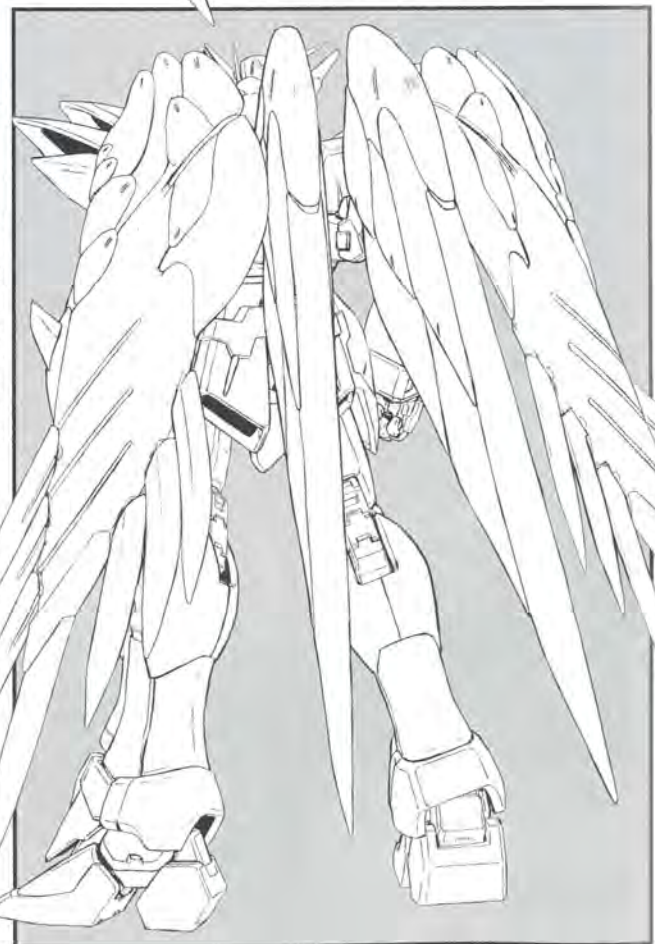
トルギスの開発は、数機分のパーツと一体の試作機の完成をもって終了したが、それに付随して開発された各種の新技術はスピノフされ、トルギスのデチューン機とも言える“リーオー”を始めとするOZのMS体系を成立させることとなる。しかし、すでにその段階で、トルギスを開発していた主要スタッフは、OZの下を出入していた。彼らは連合や財団の方針に従って兵器としてのMSを開発したわけではなく、自らの理想とするMSを生み出すことが目的だったからである。

OZを出入した技術者たちは、トルギスを超越する機体を開発すべく、トルギスの機能や構造をさらに検討し、理想のMSの基本構造とする研究を進めた。兵器としてのMSには様々な機能が付帯されるが、彼らはMSの最もソリッドな状態を作り出そうと考えたのである。そして、それ自体がトルギスに匹敵する機能をもつ躯体として設計されたのが“ゼロフレーム”である。

ゼロフレームは、武装と最終装甲、プロペラント以外の諸機能を全て完備しており、短時間であればこの状態での稼働も可能である。同時に、装甲などの外殻にも依存していたMSの構造応力をフレームそのものだけでまかなうことに成功した。これは、装甲と内部構造の完璧な分離に成功したということでもある。つまり、既存のOZ製のMSのように、外装の損壊によって稼働不良に陥ることがなく、全装甲の90%を喪失しても戦闘を継続できると言われている。ゼロフレームは、この一点において、すでにトルギスを凌駕していたということも可能だろう。しかも、そのスペックはさらにトルギス1機分(以上)の武装や外装、装甲などの装着を前提としたものであった。

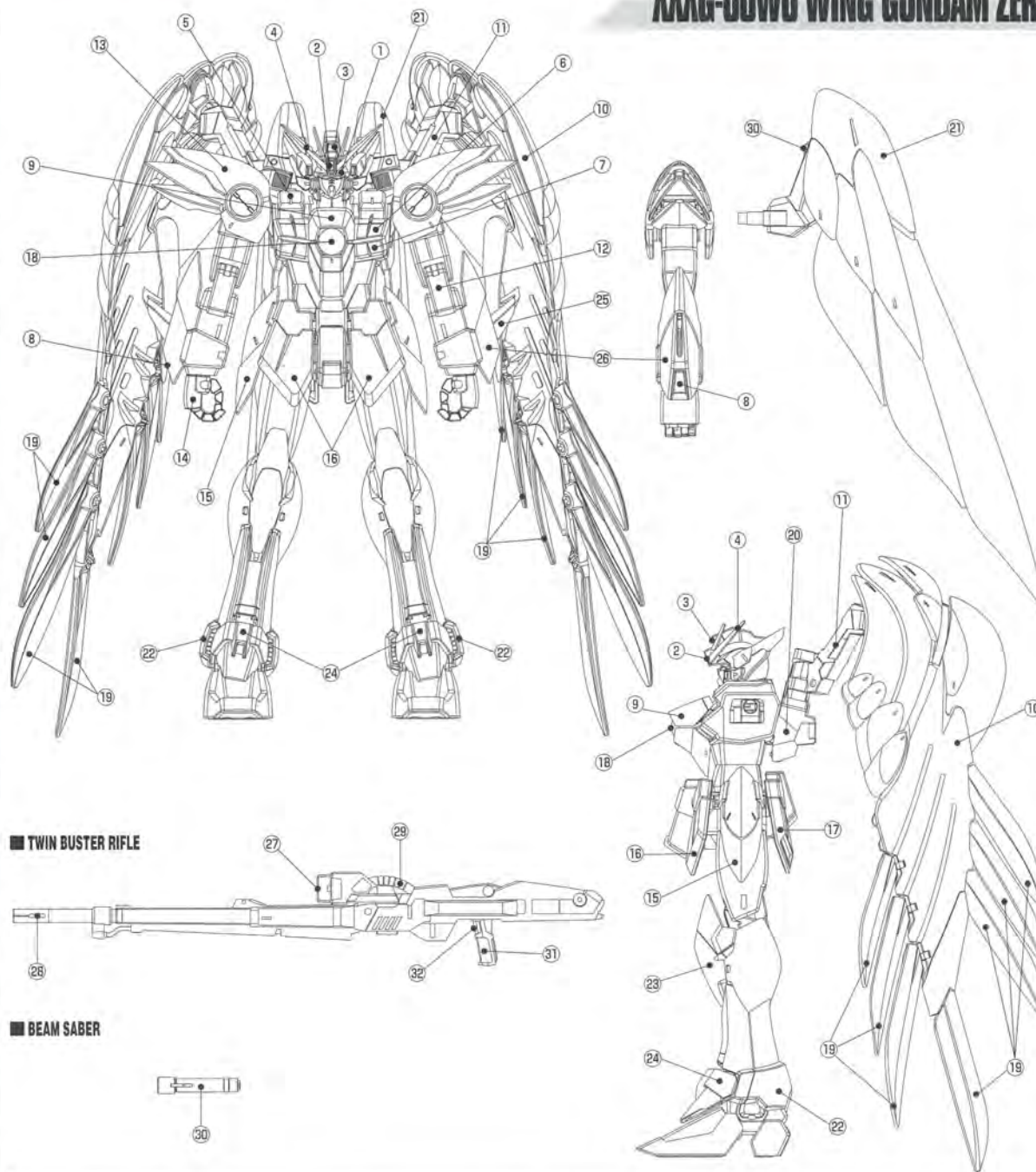
この段階で、ゼロフレームの躯体のスペックとポテンシャルはトルギスを上回り、新素材ガンダニュームの採用によって強度的にも実戦に耐え得るものとなった。ただし、トルギスのウィークポイントであった「人が制御できない機動兵器」という傾向はさらに助長されていた。それゆえ技術者たちは、この機体を封印する。だがそれは、制御系全体を含むマンマシンインターフェイスの問題であり、実際には、そのためのシステムの原型も設計されていたのである。ただし、それはあくまで、後の技術発展を見越したものであり、その時点で完成させることは不可能であった。無論、彼らがこの機体の威力そのものに脅威を感じたことも要因のひとつであったとされている。しかし、後に5人の科学者はそれぞれ独自に“ガンダム”を完成させる。

“ドクターJ”“プロフェッサーG”“老師O”“H教授”“ドクトルS”それぞれのコンセプトの違いは、彼らがそれぞれゼロに託したものであった。5機のガンダムの完成そのものが、本質的には“ゼロ”の完成の予兆でもあった。最大の課題であったパイロットとのインターフェイス“ゼロシステム”も、この動乱の時代を見据えていたかのように実現可能となっていたのである。かくして、20年の時を経て、ゼロの魂と肉体は復活の刻を迎える。

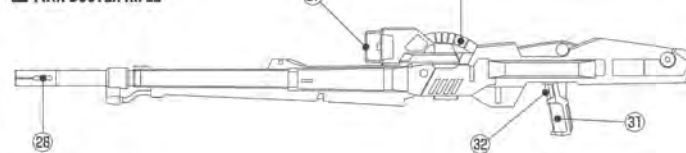


Conceptual Illustration : Katoki Hajime

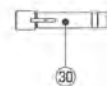
# XXXG-000 WING GUNDAM ZERO



### TWIN BUSTER RIFLE



### BEAM SABER



- |             |                |                 |               |
|-------------|----------------|-----------------|---------------|
| ①デュアルセンサー   | ⑨コクピットハッチ      | ⑬リアアーマー         | ⑳カナード         |
| ②ブローズセンサー   | ⑩メインウイング       | ⑭ゼロシステムインジケータ   | ㉑センサーアレイ      |
| ③フォアヘッドセンサー | ⑪フレキシブルウイングステー | ⑮フレキシブルカナードウイング | ㉒サイトスコープ      |
| ④ブレードアンテナ   | ⑫エルボージョイント     | ⑯バックパック         | ㉓マズル          |
| ⑤マシンキャノン    | ⑬ショルダーアーマー     | ㉔サブウイング         | ㉕パワーサブライケーブル  |
| ⑥アッパーインテーク  | ⑭マニピュレータ       | ㉖アングルサポートユニット   | ㉗ビームサーベル      |
| ⑦ボトムインテーク   | ⑮サイドアーマー       | ㉘ニージョイントアーマー    | ㉙フォールディンググリップ |
| ⑧サブセンサー     | ⑯フロントアーマー      | ㉚アングルアーマー       | ㉛トリガー         |

注) “ウイングガンダムゼロ”は、トルギスと5機のガンダム、すなわちウイングガンダム・ガンダムデスサイズ・ガンダムヘビーアームズ・ガンダムサンドロック・シェンロンガンダムの間に位置する機体であり、5機のガンダムは、完成することなく封印された“ゼロ”の形見分けによって生まれたとも言える。逆に、5機のガンダムの完成によって、ゼロの建造も可能となったのである。

Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

Arm & Leg Unit

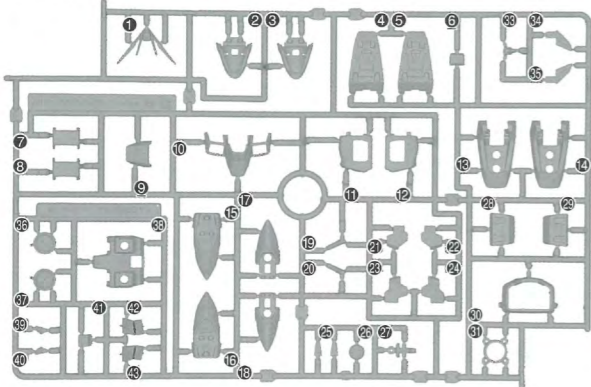
Wing Unit

Weapons

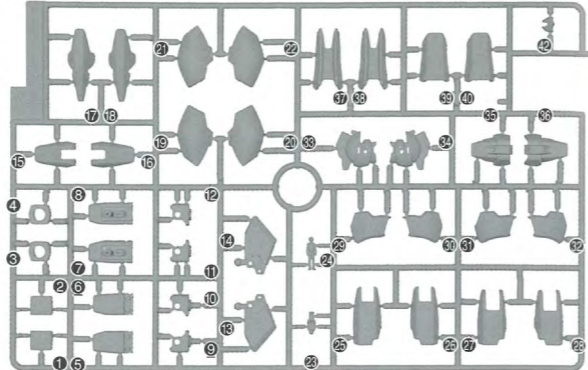
Final Assembly

### パーツリスト

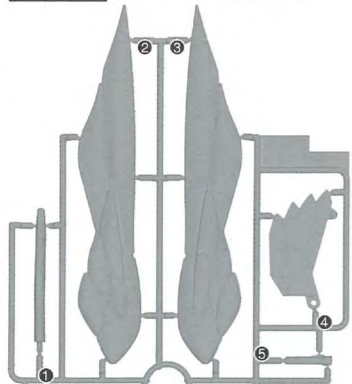
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



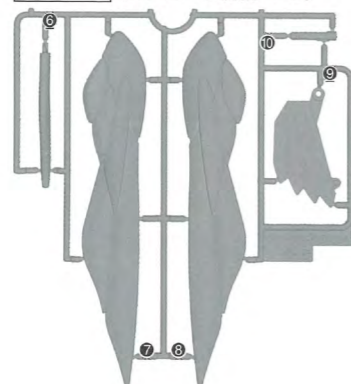
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



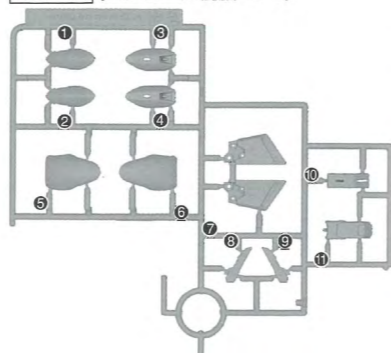
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



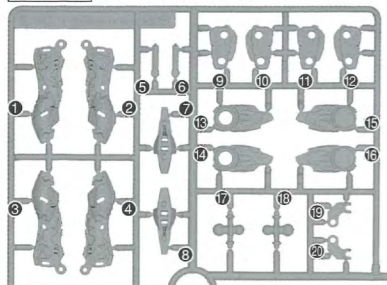
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



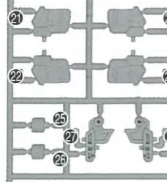
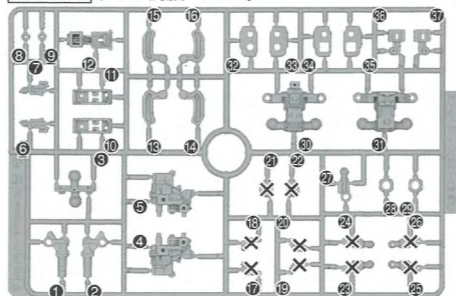
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



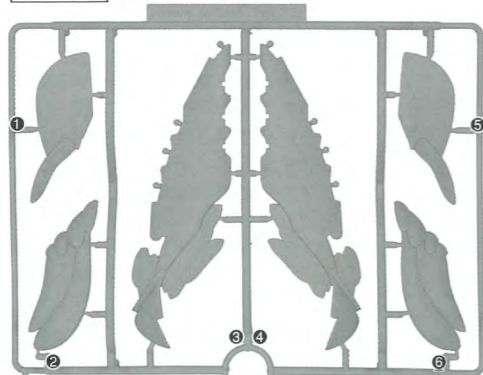
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



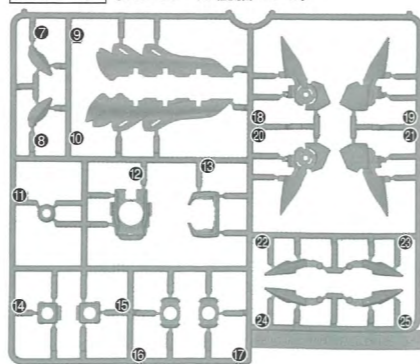
Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



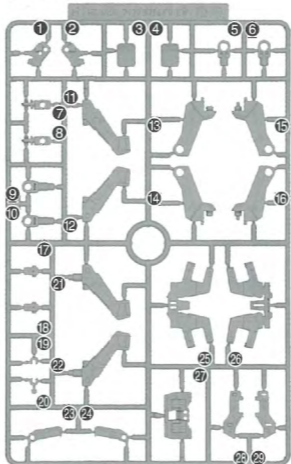
G1パーツ (スチロール樹脂: PS)



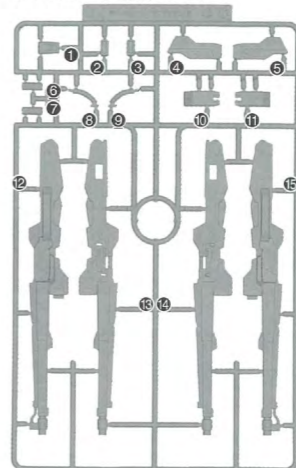
G2パーツ (スチロール樹脂: PS)



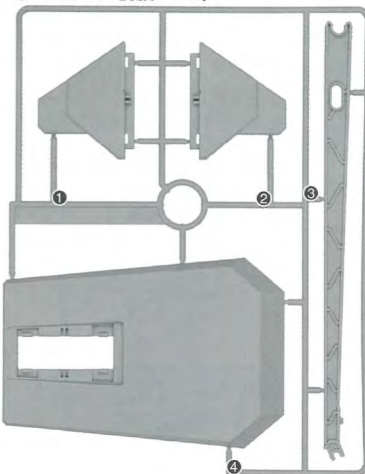
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



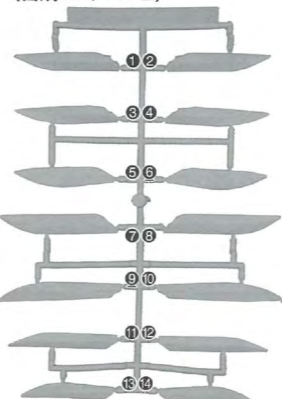
Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



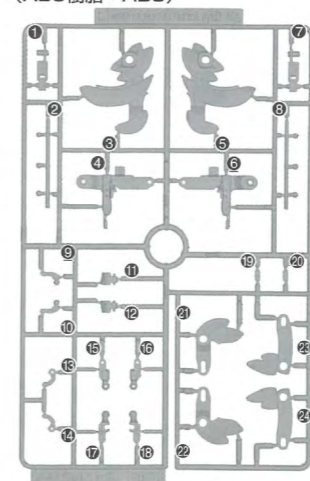
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



Kパーツ (合成ゴム: TPE)



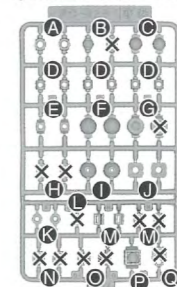
Lパーツ (ABS樹脂: ABS)



SB4パーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-126プラス (ポリエチレン: PE)



カラーシール.....1枚  
マーキングシール.....1枚  
ガンダムデカール.....1枚

### 注意

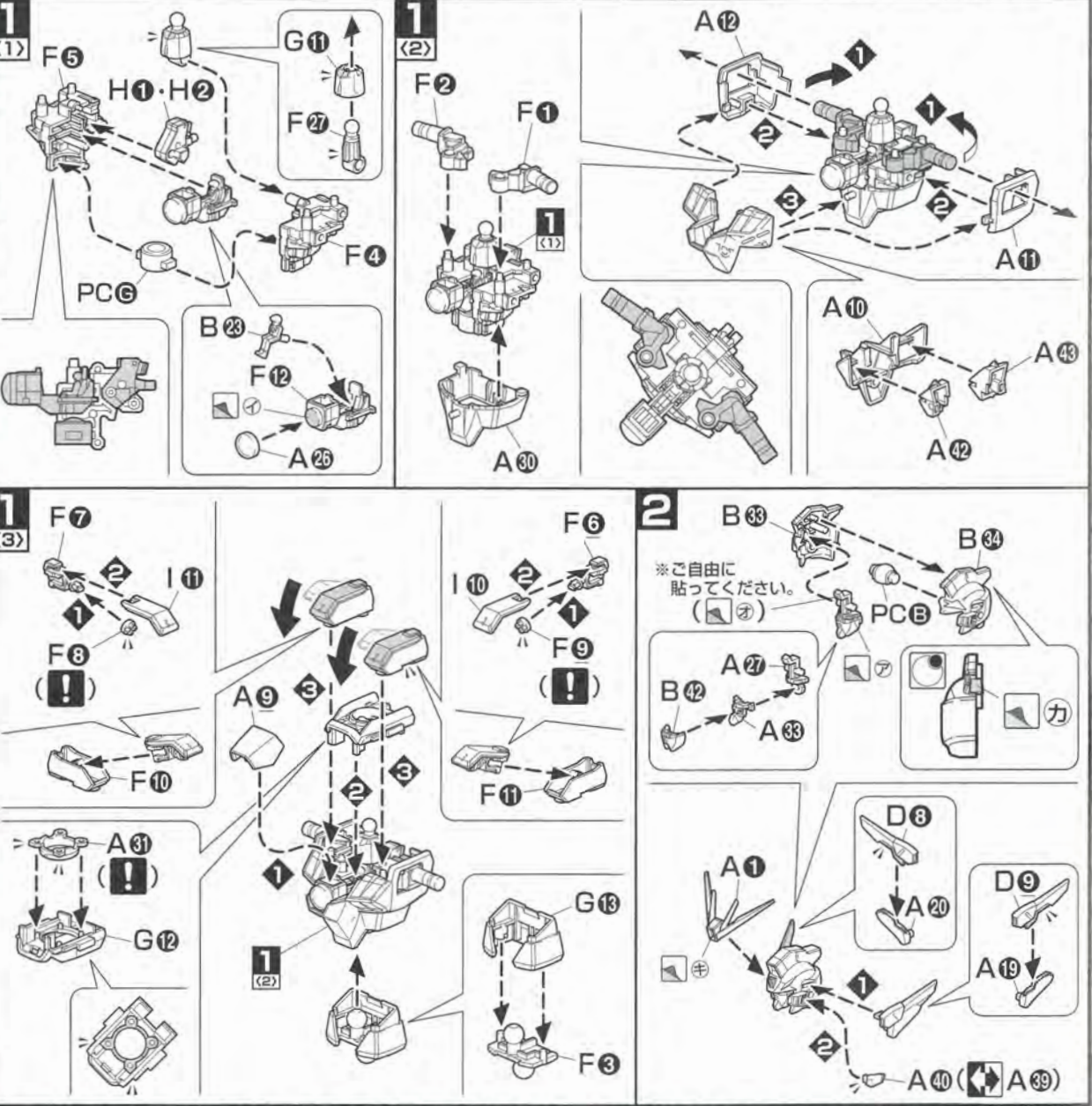
お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

### 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

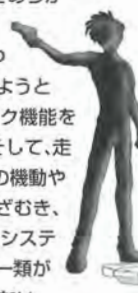
接着をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ビスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします



## HEAD UNIT

ウイングガンダムゼロのヘッドユニットには、各種のセンサーと、それにリンクしたゼロシステムの演算ユニットが高密度に実装されている。その時パイロットは、文字どおり、ゼロと同じものを見、聞き、感じることができる。

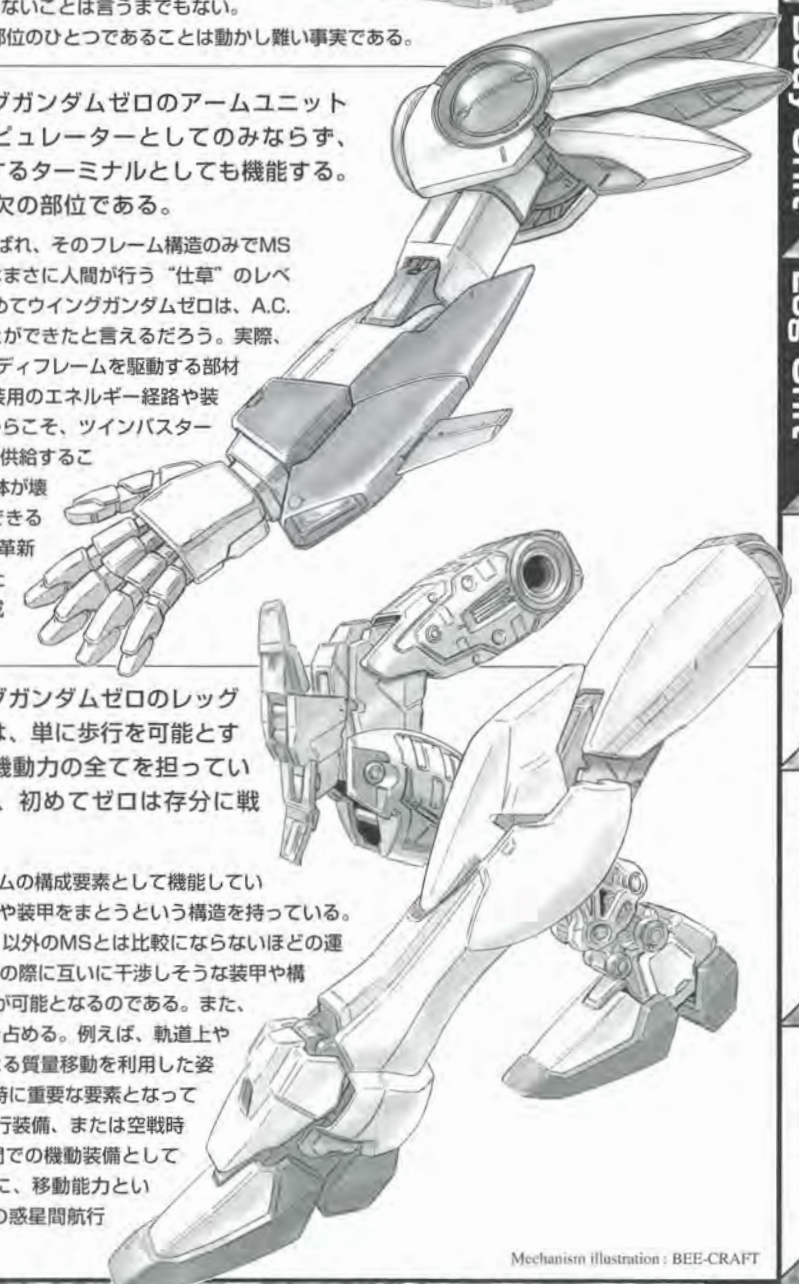
ゼロシステムは、システムが分析、予測した状況の推移に応じた対処法の選択肢や結果を搭乗者の脳に直接伝達する。単純に言えば、勝利するために取るべき行動をあらかじめパイロットに伝達するのである。その予測とは、基本的に戦術的な勝利を目的としたものであり、勝利のためであれば搭乗者の死傷をも選択する。つまり、搭乗者の事情や感情などにお構いなく、勝利のための行動を優先させようとするのである。さらにこのシステムは、コクピットに高性能なフィードバック機能を持ち、脳内の各領域の生体作用を走査し、逆に刺激を与えることもできる。そして、走査された脳内の活動状況からパイロットのコンディションを読み取り、MSの機動や運動によって発生する衝撃や加重などの刺激情報の伝達を緩和あるいはあざむき、人間の限界を超えた環境下での機体制御を可能とする。ハードとしてのゼロシステムは、コクピットブロックをはじめとする胸部に存在するが、頭部のセンサー類がもたらす膨大なデータが無ければシステムは機能しないことは言うまでもない。その意味でウイングガンダムゼロの頭部は、最重要部位のひとつであることは動かし難い事実である。



## ARM UNIT

ウイングガンダムゼロのアームユニットは、マニピュレーターとしてのみならず、サーベルやライフルにエネルギーを供給するターミナルとしても機能する。それは、ゼロの力を発揮するために不可欠の部位である。

ウイングガンダムゼロの骨格はゼロフレームと呼ばれ、そのフレーム構造のみでMSに必要な動作をほとんど賄うことができる。それはまさに人間が行う「仕事」のレベルまでもが再現可能であり、この繊細さがあって初めてウイングガンダムゼロは、A.C. 暦における「ガンダム」の始祖として完成することができたと言えるだろう。実際、このゼロフレームは単なる骨格ではなく、四肢やボディフレームを駆動する部材がすべて盛り込まれているのである。つまり、武装用のエネルギー経路や装甲は、躯体から完全に独立しているのである。だからこそ、ツインバスターライフルにコロニーを破壊するほどのエネルギーを供給することもできるし、無数の敵機から攻撃を受け続け、機体が壊滅的な損傷を被っても戦闘能力を維持することができるのである。無論、完成までにおよそ20年分の技術革新はあったにしても、その設計思想が先進的であったからこそ、そのタイムスパンを内包したまま完成できたのだろう。



## LEG UNIT

ウイングガンダムゼロのレッグユニットは、単に歩行を可能とするだけでなく、地上における飛行以外の機動力の全てを担っている。この部位の堅牢さと繊細さがあって、初めてゼロは存分に戦えるのである。

ウイングガンダムゼロの脚部もまた、ゼロフレームの構成要素として機能している。実際ウイングガンダムゼロは、フレームに武装や装甲をまとおうという構造を持っている。このことが、ウイングガンダムゼロに「ガンダム」以外のMSとは比較にならないほどの運動性能と可動範囲をもたらしている。つまり、可動の際に互いに干渉しそうな装甲や構造物は、フレームから「浮かせて」移動させることが可能となるのである。また、「歩行」を行うMSの脚部は、機体質量のほぼ半分を占める。例えば、軌道上や惑星間などの無重量空間において、四肢の可動による質量移動を利用した姿勢制御は、そのレスポンスが対MS戦闘においては特に重要な要素となっている。つまり、MSの脚部とは、重力下における歩行装備、または空戦時のランディングギアとしてのみならず、無重量空間での機動装備としても欠かすことができない部位なのである。ちなみに、移動能力ということ言えば、ウイングガンダムゼロには専用の惑星間航行用のブースターユニットも用意されている。

Parts Name

Parts List

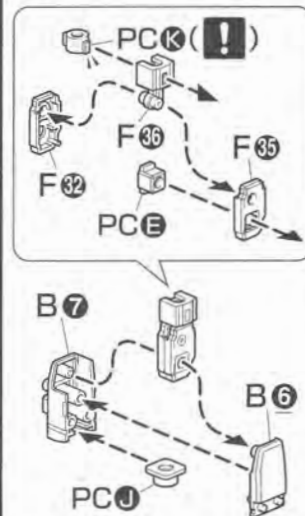
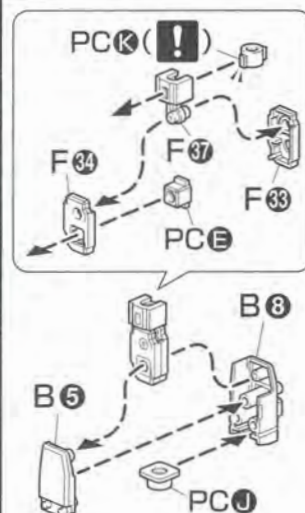
Head &amp; Body Unit

Arm &amp; Leg Unit

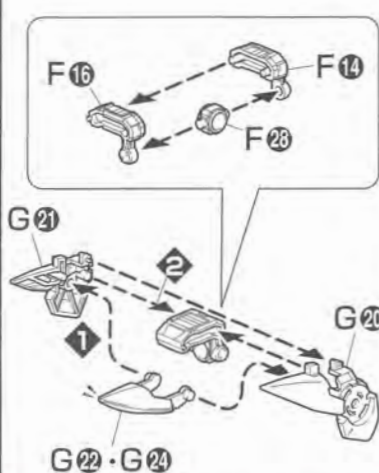
Wing Unit

Weapons

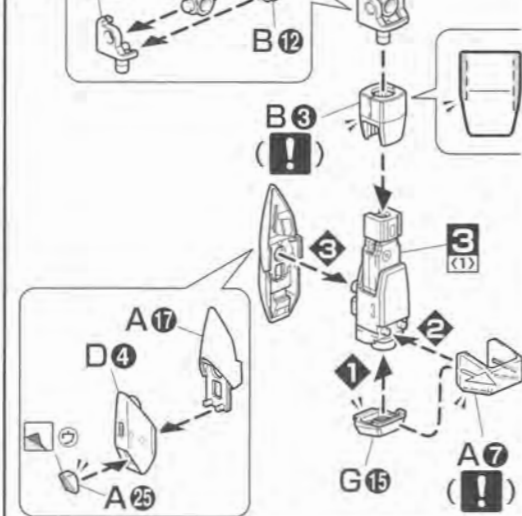
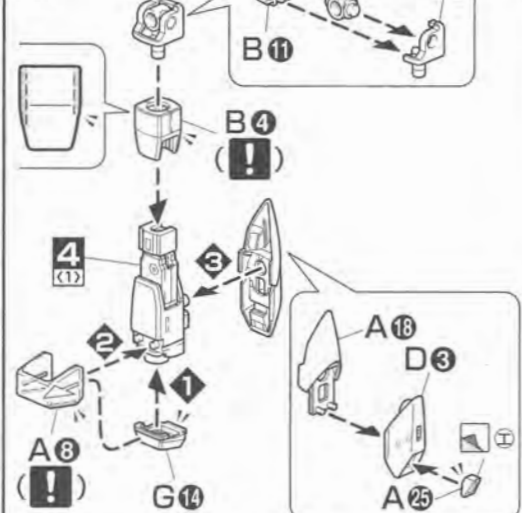
Final Assembly

3  
(1)4  
(1)

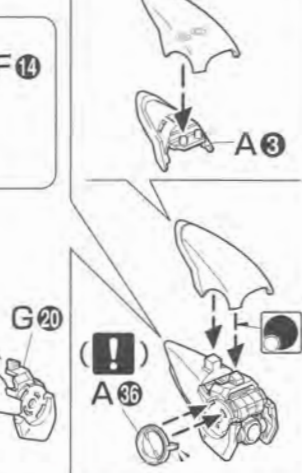
5



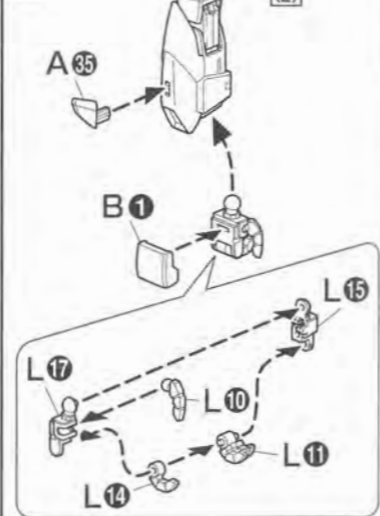
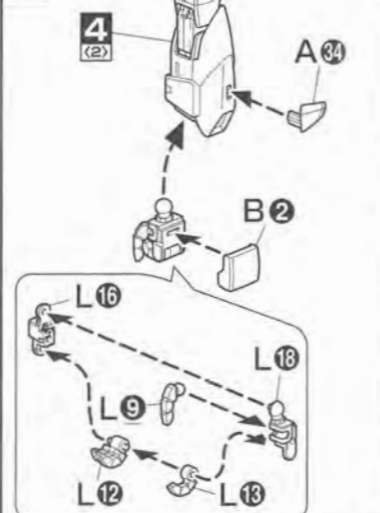
8

3  
(2)4  
(2)

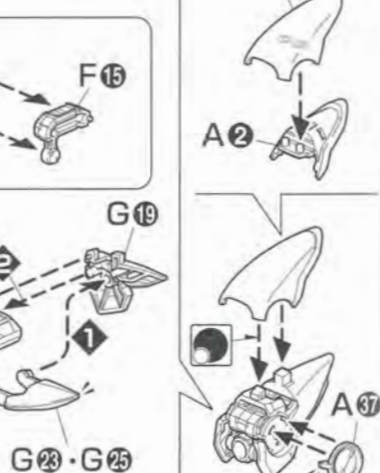
6



9

3  
(3)4  
(3)

6



9

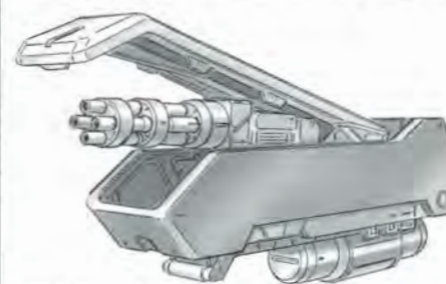
## WING UNIT

ウイングガンダムゼロは、特性の異なる二種類のウイングユニットを二対持っている。それぞれの翼は、空力、質量移動などによる機動装置として、あるいは防御装備として破格の機能を持つ。

ウイングガンダムゼロのウイングユニットは、複数のブロックからなるメインフレームに7つのフレキシブルカーナードウイングが直結し、翼面構造そのものが自在に形状を変えることで、空力的にもリアルタイムでの制御を可能としている。これらの装備は、機体の機動装置であると同時に防御装備でもある。機体前面を覆うことのできる主翼とバーニアを内装する副翼を持ち、その基部は高機動で加速を繰り返す機体そのものを懸架するほどの強度を持っている。このフレキシブルウイングステーションは、構造上、四肢に次ぐ第五肢、第六肢に相当し、無重量空間では能動的な質量移動による機動装置となり、大気圏内では空力的にも文字どおりの翼として機能する。主翼の基本骨格は、ゼロフレーム本体に準じた構造で構成されており、時には堅牢に、時には柔軟に可動する。翼を構成する“羽根”もまた、ガンダニウム合金に分類されるマテリアルが使用されており、羽根の形状そのものは構造的に実在の鳥類のものを模している。そして、耐熱、耐衝撃機能を持つ羽根状部材がフラクタルに展開されていて、それぞれの部品が単位ごとに形状や位置情報を記憶しており、相互に補い合う機能を持っている。これらはナノレベルで制御されており、ガンダニウムの持つ特性を最大限まで活用した芸術品とも呼べるパーツなのである。衝撃に対しては自ら損壊することで、高温に対しては自ら剥離することで、主翼そのものも含む本体を保護する機能を持っている。副翼は機能的にバーニアとして特化されており、主翼を二枚とも喪失したとしても、機動性や飛行能力そのものが失われることはほとんどない。当然、副翼の外装にも主翼の“羽根”と同等の部材が使用されており、通常の兵器が装備する“翼”とは次元の違う耐久性を持っているということが出来るだろう。

## WEAPONS

ウイングガンダムゼロの武装は、あらゆる局面に対応可能でありながら、その機能と効果が非常に絞り込まれている。しかし、ゼロの持つ破壊係数は、これらの武装のみによってもたらされているわけではない。

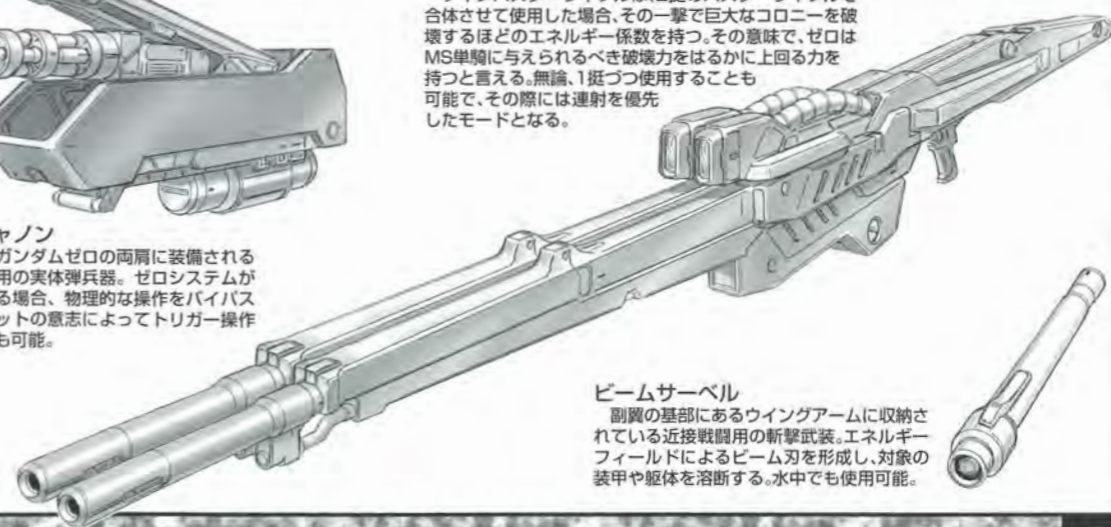


**ツインバスターライフル**

ツインバスターライフルは、2挺のバスターライフルを合体させて使用した場合、その一撃で巨大なコロニーを破壊するほどのエネルギー係数を持つ。その意味で、ゼロはMS単騎に与えられるべき破壊力をはるかに上回る力を持つと言える。無論、1挺づつ使用することも可能で、その際には連射を優先したモードとなる。

**マシンキャノン**

ウイングガンダムゼロの両肩に装備される近-中距離用の実体弾兵器。ゼロシステムが発動している場合、物理的な操作をバイパスし、パイロットの意志によってトリガー操作を行うことも可能。



**ビームサーベル**

副翼の基部にあるウイングアームに収納されている近接戦闘用の斬撃武装。エネルギーフィールドによるビーム刃を形成し、対象の装甲や躯体を溶断する。水中でも使用可能。

Parts Name

Parts List

Head &amp; Body Unit

Arm &amp; Leg Unit

Wing Unit

Weapons

Final Assembly

9

SILENT ORBIT

A.C.0196年、5機のガンダムの出現によって始まった戦争の終結と共に、地球統一国家が成立し、戦争のための兵器はすべて廃棄されることとなった。人類の悲願であった平和を手に入れた地球圏にとって“ガンダム”の存在は争いの火種でしかない。そう考えたカトルの提案により、五飛を除く4人の少年たちはガンダムの破壊を決めた。カトルとデュオは、送られてきたヒロのウイングガンダムゼロとトロワのヘビーアームズと共に、自らのサンドロック、デスサイズを廃棄資源衛星に乗せると、そのコースを太陽へと向け、苦楽を供にした愛機に別れを告げる。だがしかし、時代は未だ“ガンダム”を、そして“ガンダム”を駆る意志を持つ者たち”を必要としていた……。



RETURN TO FOREVER

地球を目指すヒロの前に“ナタク”を駆る五飛が立ちはだかった。ゼロはアルトロンともみ合いながら大気圏に突入してゆく。「五飛…。トリーズはもういない。お前が倒したんだ!」「違う、俺は今でも奴と戦っている!!」「五飛、教えてくれ。俺たちはあと何人殺せばいい。俺はあと何回あの子とあの子を殺せばいいんだ!」ヒロはゼロの推力を切って落下し始めた。「ゼロは何も言ってくれない…。教えてくれ、五飛!」ゼロはそのまま海底に没し、五飛は無言でその場を立ち去る。一方、敵兵を傷つけないよう不利な戦いを繰り広げ、敵の本陣を目前にしなから武器を使い果たしたトルギスIII、トラス、そして3機のガンダムは、サーベント部隊に包囲され絶体絶命の危機に陥っていた。その時、水底から目覚めたヒロのウイングガンダムゼロは、はるか上空に姿を現す。サーベント部隊の迎撃を気にも止めず、ツインバスターライフルを構えたヒロは、リリーナが軟禁されているシェルターの中のマリーメアに問いかける。「確認する。シールドを張っているな。シェルターは完璧なんだな」「もちろんです。あなたたちの無力さを思い知りなさい!」「了解した!」言い放つや、ヒロはビームを撃つ!!!

A WING SWEPT DOWN

かつての世界国家軍の司令部、資源衛星MO-2において終戦一周年を祝う式典が開催されていた。今はプリベンターとして共に活動しているノイン、サリィ、レディらは、不吉な兆候に不安を感じていた。リリーナの失踪を契機として、地球圏は再び混乱に陥った。トリーズ・クシュリナーダの娘マリーメアがコロニーの独立を宣言すると共に、地球に対し宣戦を布告したのだ。そして、パートナー財団が密かに量産していたネオ・チタニューム製のMS“サーベント”が大挙して地球へと襲いかかる。マリーメア軍は、瞬間に地球統一国家大統領府を制圧する。その混乱のさなか、5人の少年たちは、再びそれぞれの戦いへと赴く。マリーメア軍のシャトルを奪い資源衛星から脱出したヒロは、カトルが回収したウイングガンダムゼロとの合流に成功。ゼロは再び、その白き翼を広げ、地球へと向かって羽ばたいた!!



ACTION POSE



WEAPONS

ツインバスターライフル、ビームサーベル等の武装をセット。



MARKING

ウイングガンダムゼロのイメージを広げる商品オリジナルのデザインも含めたマーキングシール、ガンダムデカールが付属。

PAINTING

- ※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご確認ください。
  - ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
  - このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(MG「ウイングガンダムゼロ(エンドレスフルツ版)」用、その他カラーセット)をお使いください。
  - ABS樹脂部分への塗装は破損の恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
- 本体等ホワイト部の塗装色。  
ホワイト(100%) + ネービーブルー少量  
※またはガンダムカラー ホワイトS
  - 胸等ブルー部の塗装色。  
コバルトブルー(70%) + インディブルー(30%) + モンザレッド少量 + ホワイト少量  
※またはガンダムカラー ブルーS
  - クツ等レッド部の塗装色。  
シャインレッド(80%) + レッド(20%)  
※またはガンダムカラー レッド1
  - アンテナ等ゴールド部の塗装色。  
ゴールド(100%)の上からクリアイエロー(100%)
  - 関節等グレー部の塗装色。  
ニュートラルグレー(80%) + ブラック(20%) + パープル少量  
※またはガンダムカラー グレー1B
  - 目撃クリアグリーン部の塗装色。  
クリアグリーン(100%)
  - 頭上部センサー クリアパープル部の塗装色。  
クリアレッド(60%) + クリアパープル(40%)
  - ツインバスターライフル タークグレー部の塗装色。  
ニュートラルグレー(70%) + ブラック(30%) + レッド少量 + パープル少量
  - ライフル、センサー グリーン部の塗装色。  
シルバー(100%)の上からクリアグリーン(100%)



REAR VIEW



FRONT VIEW

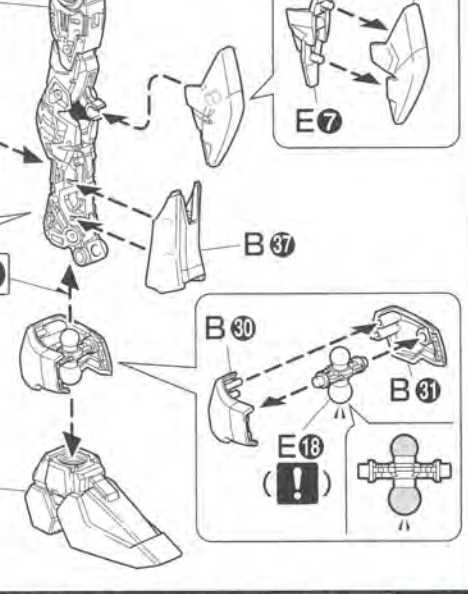
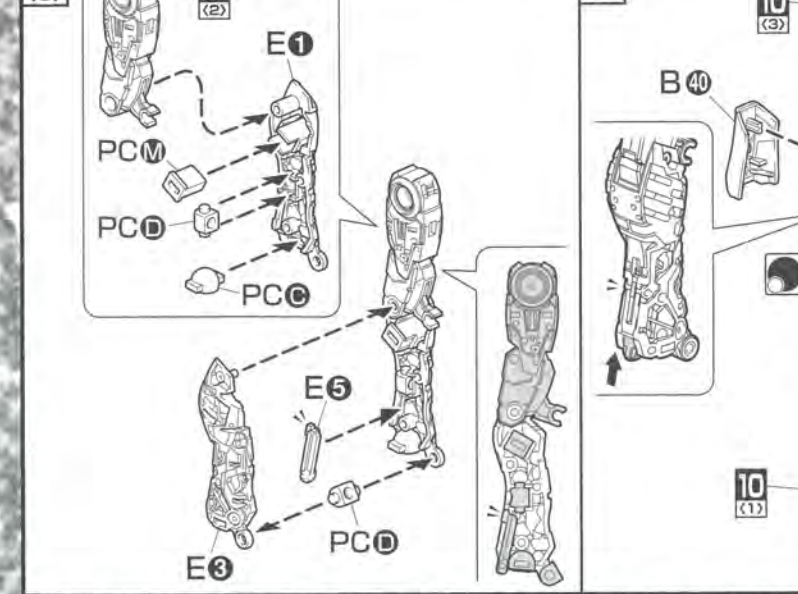
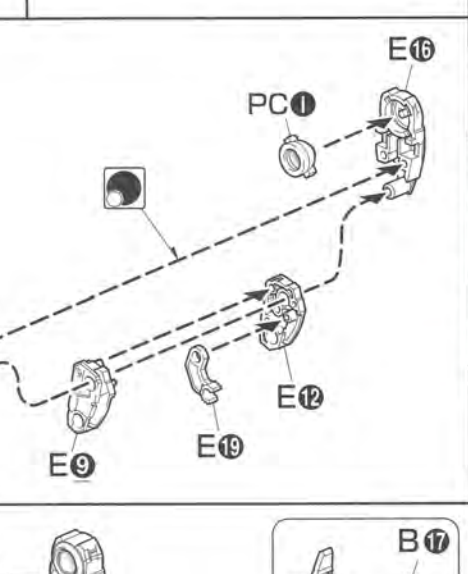
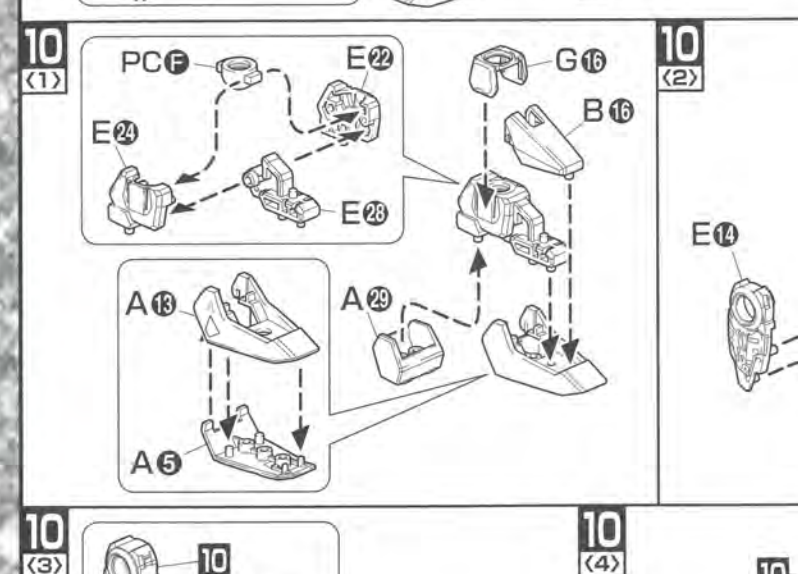
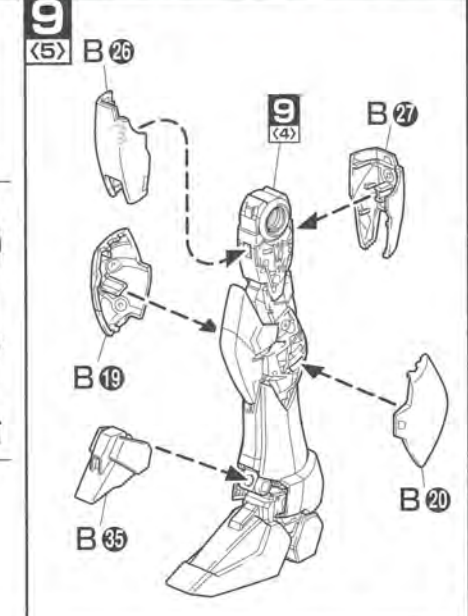
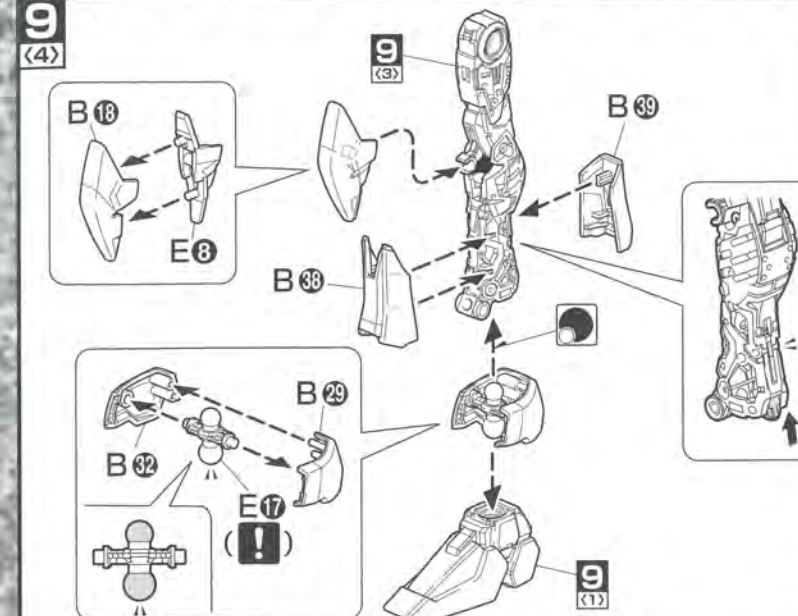
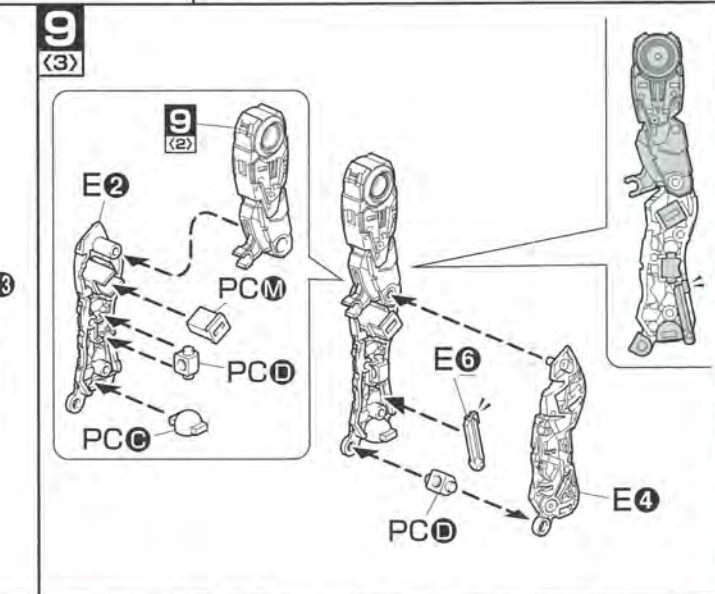
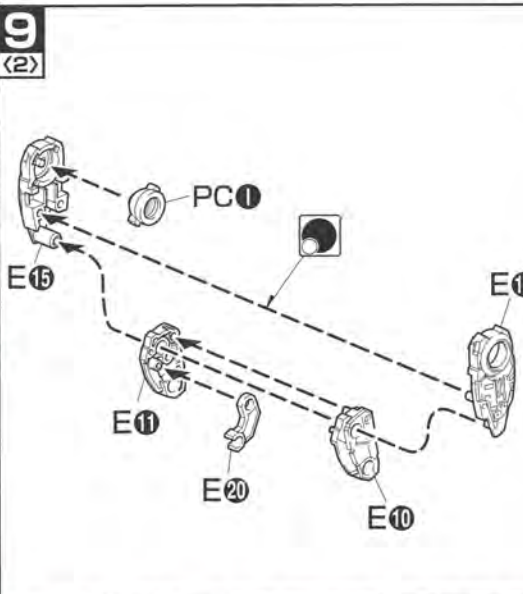
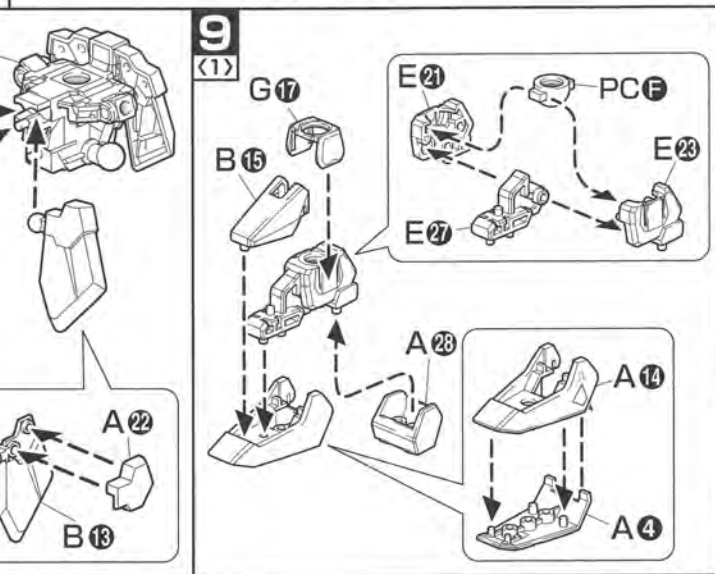
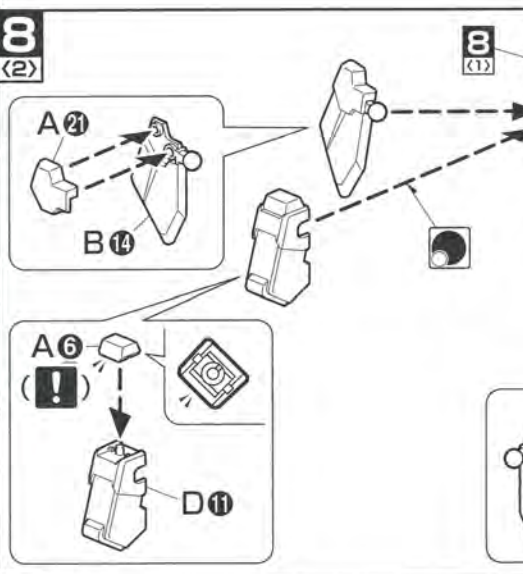
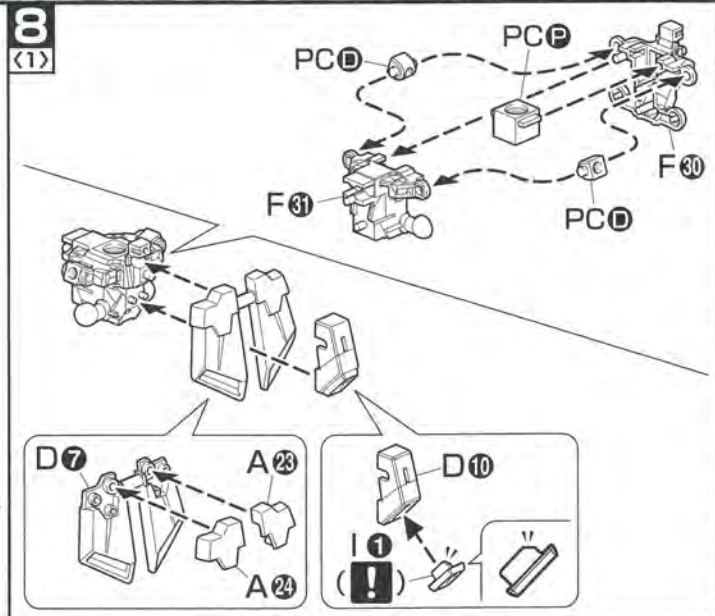
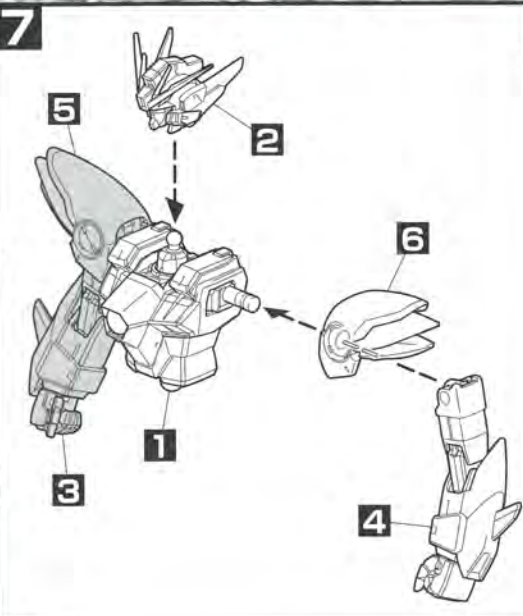


▲ 背中中の4枚の翼は翼面積を拡大する可変ギミックを搭載。小羽に合成ゴム素材を使用し、柔軟な表現が可能。4枚の翼がフレキシブルに可動して、大気圏突入形態を再現。

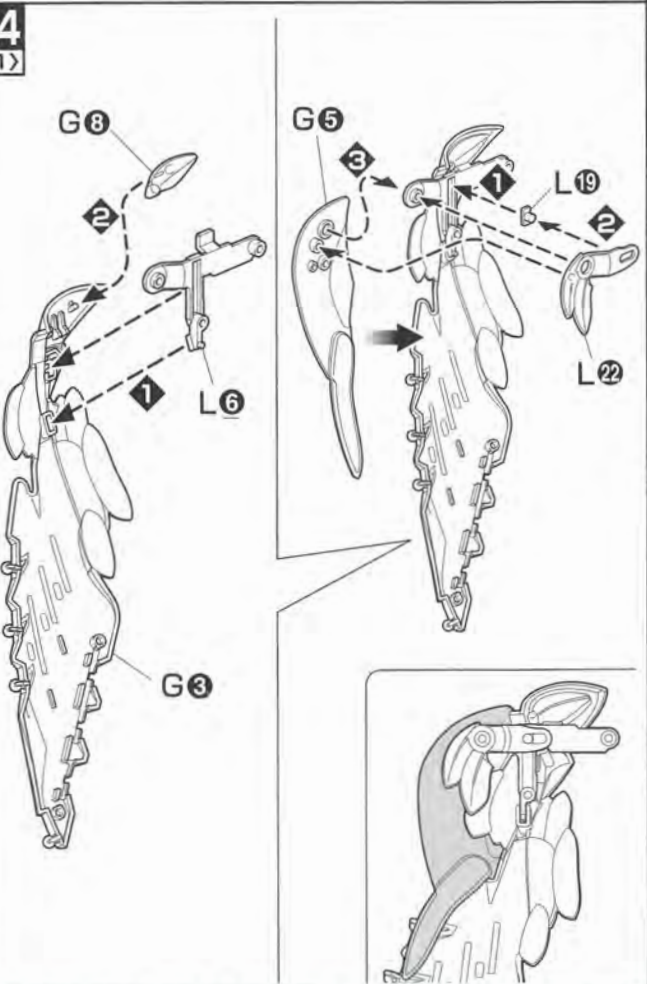
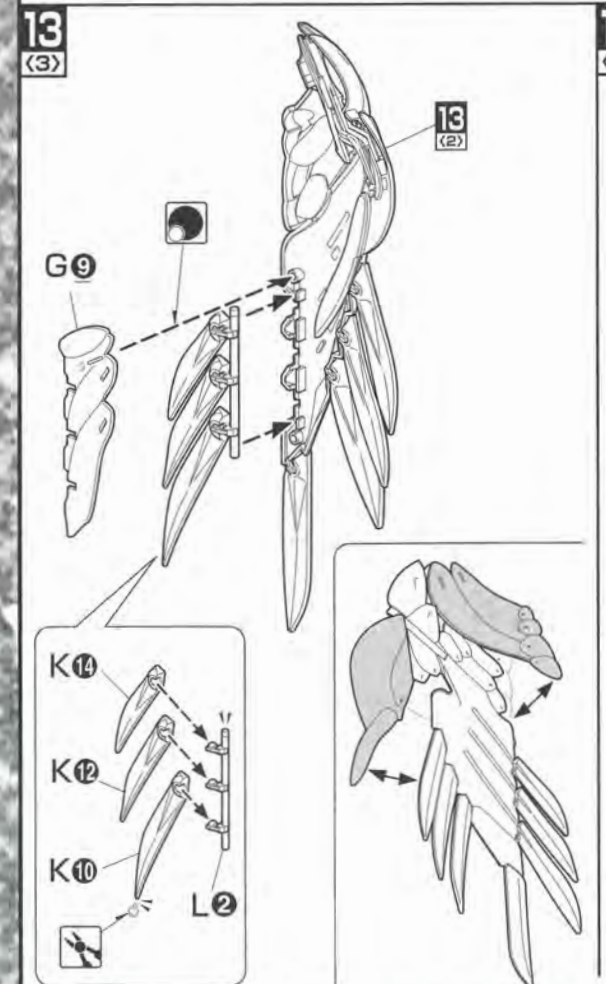
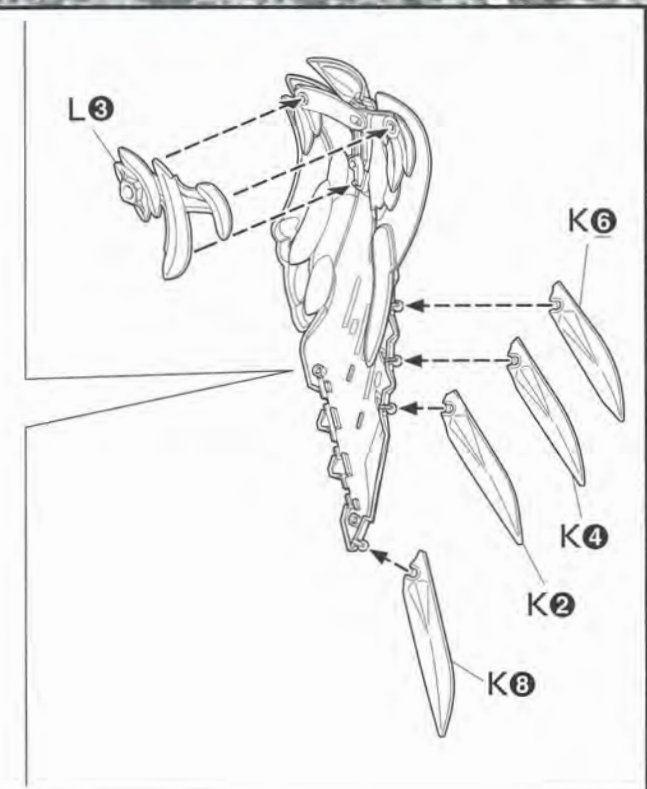
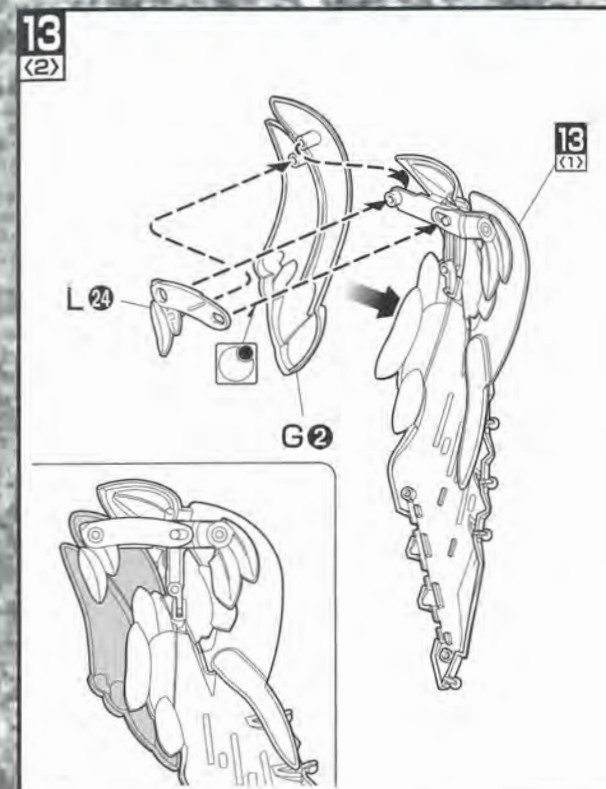
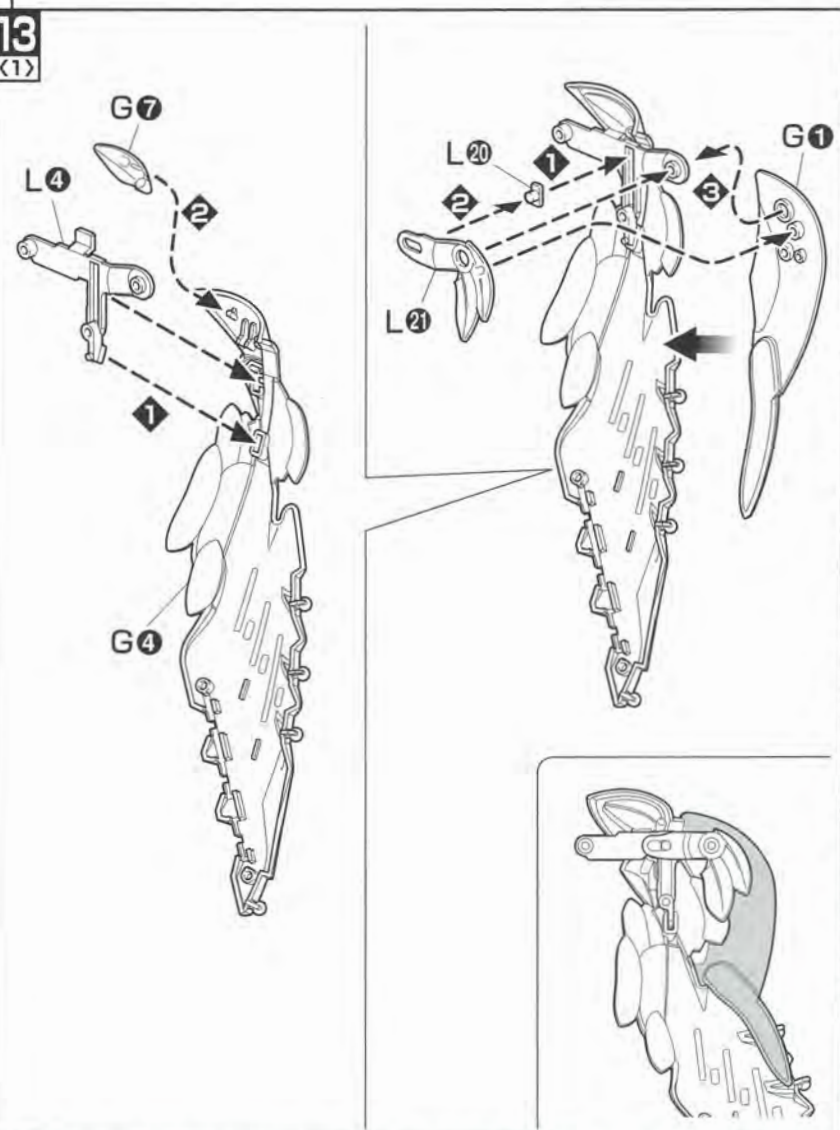
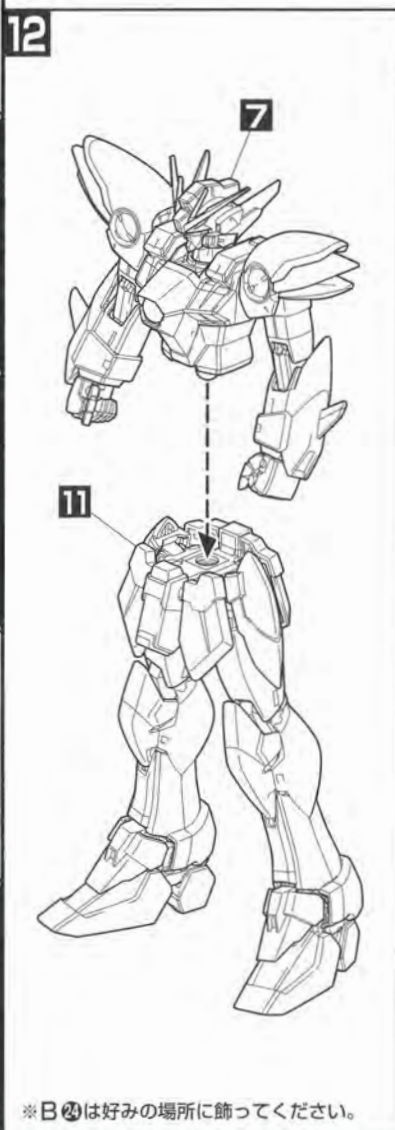
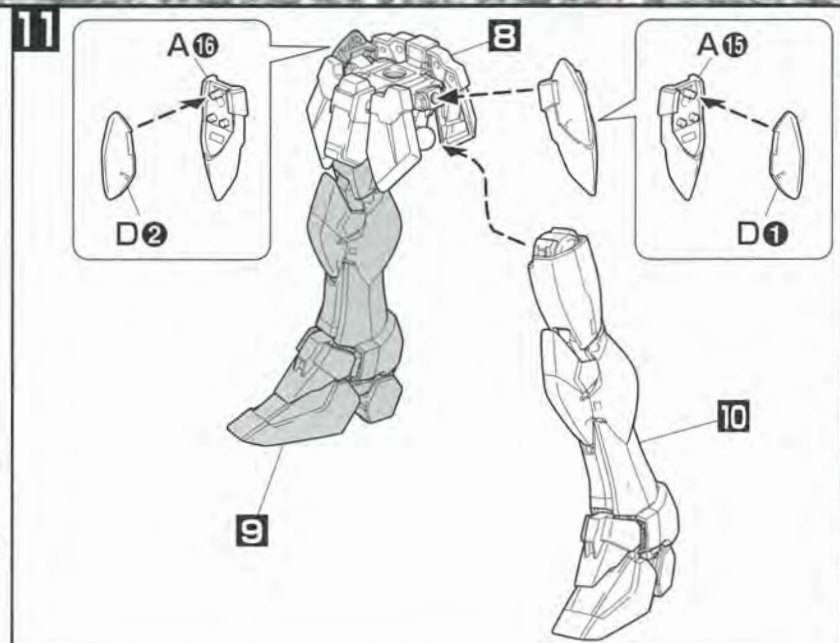
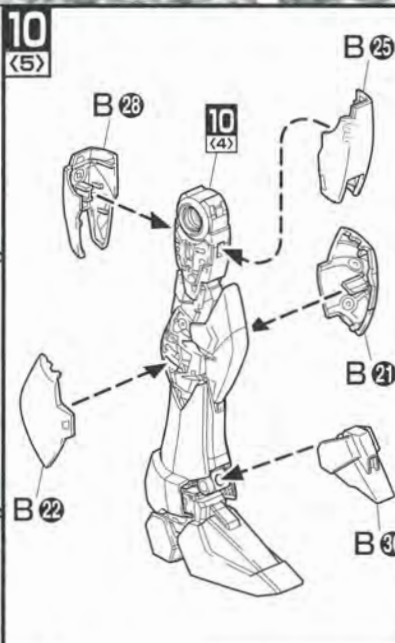


▲ 機体各部の内部フレームをリアルに再現。脚部等、MGならではの広範囲な可動を実現。

Parts Name  
Parts List  
Head & Body Unit  
Arm & Leg Unit  
Wing Unit  
Weapons  
Final Assemble

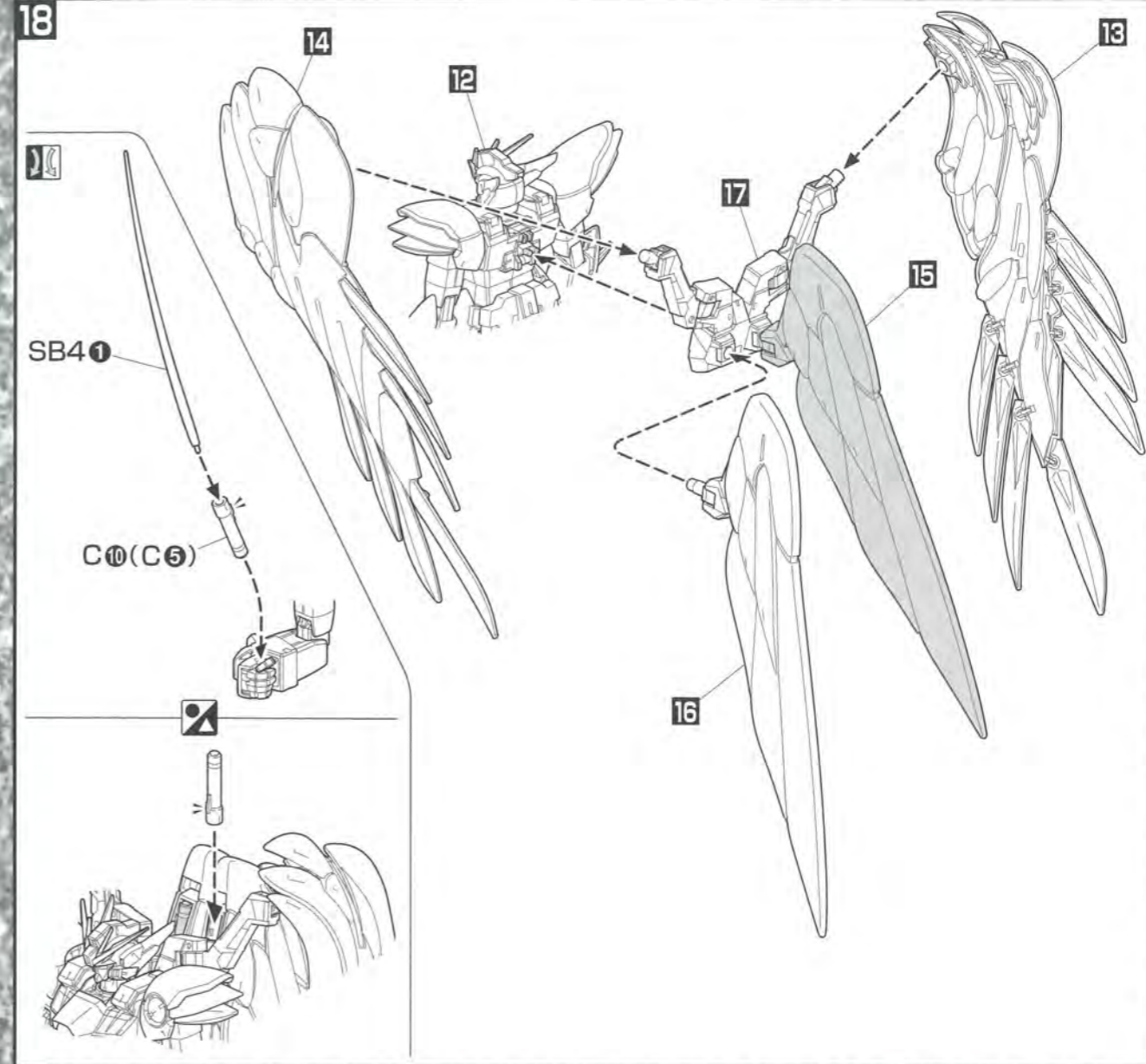
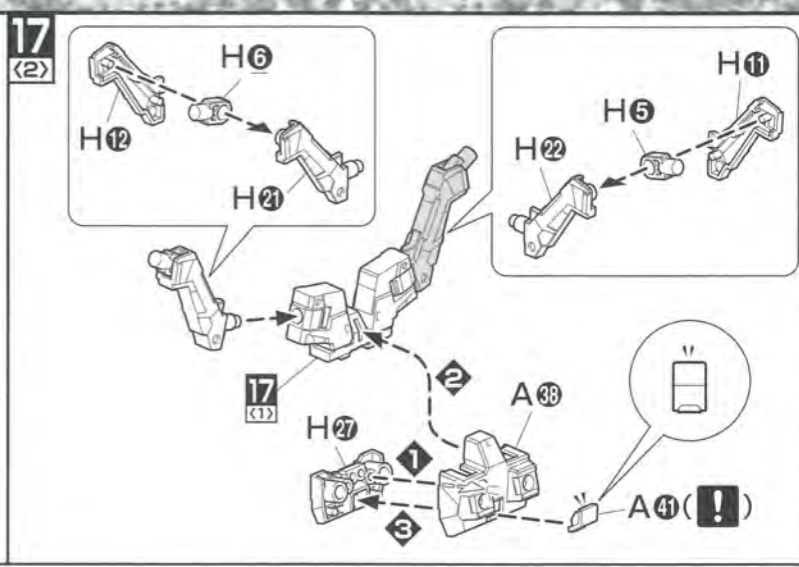
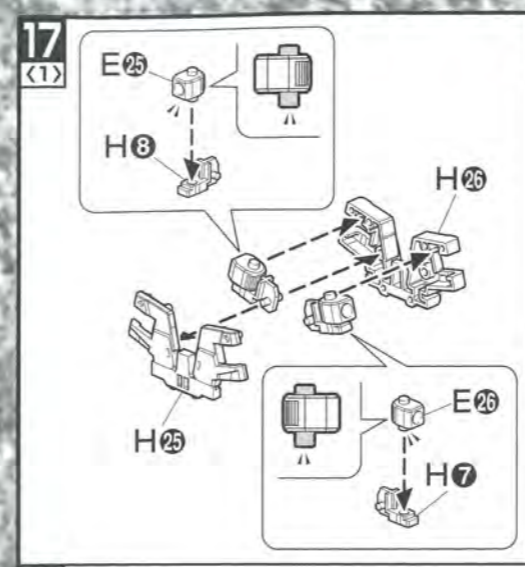
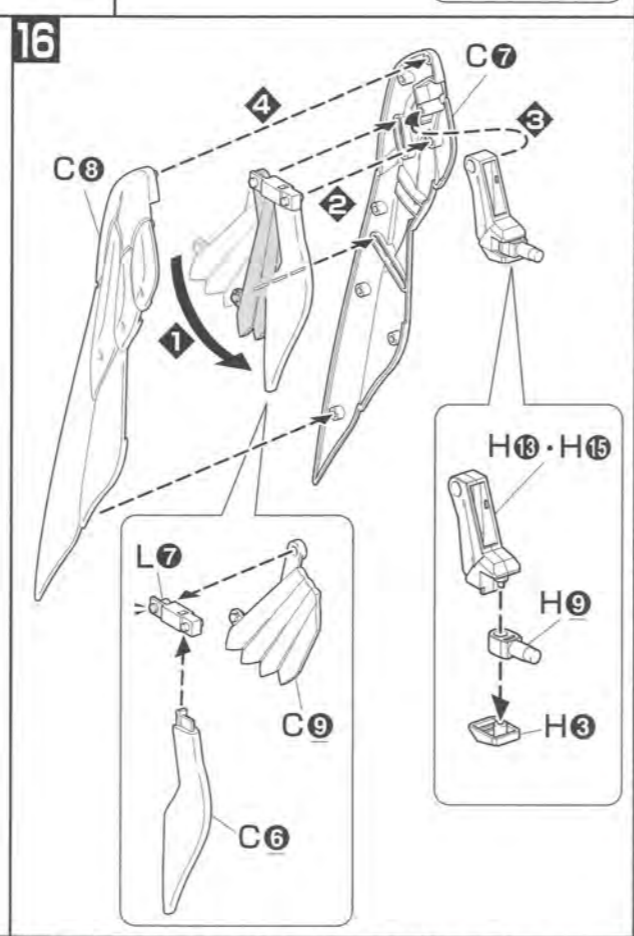
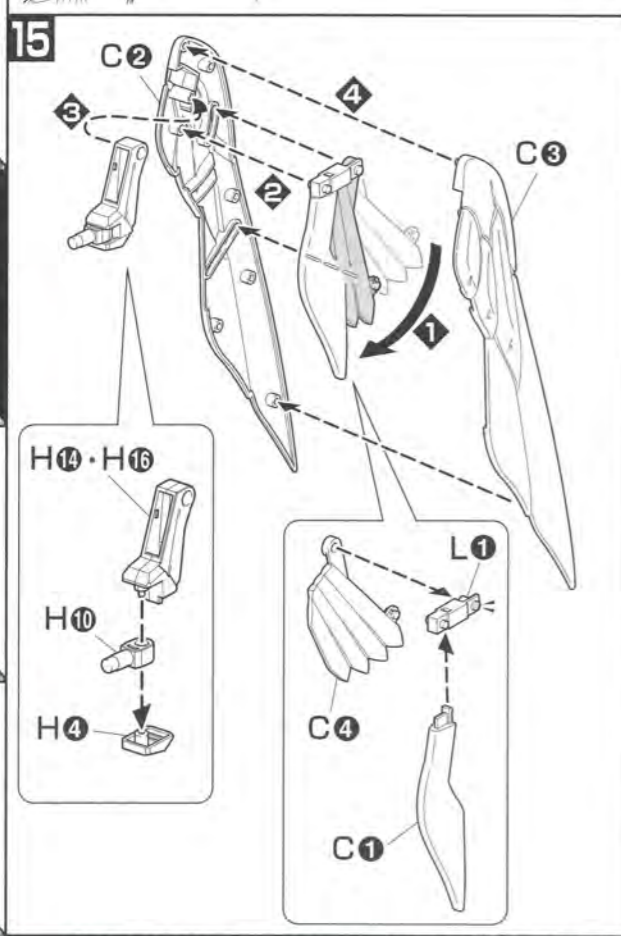
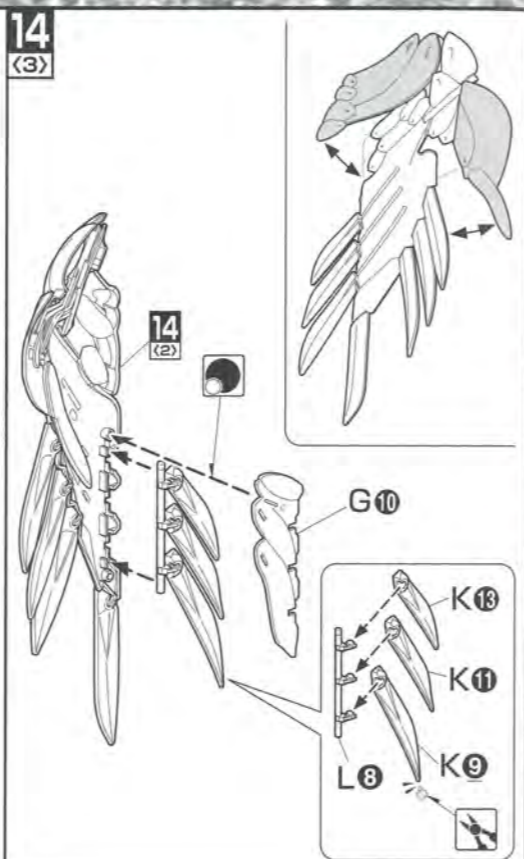
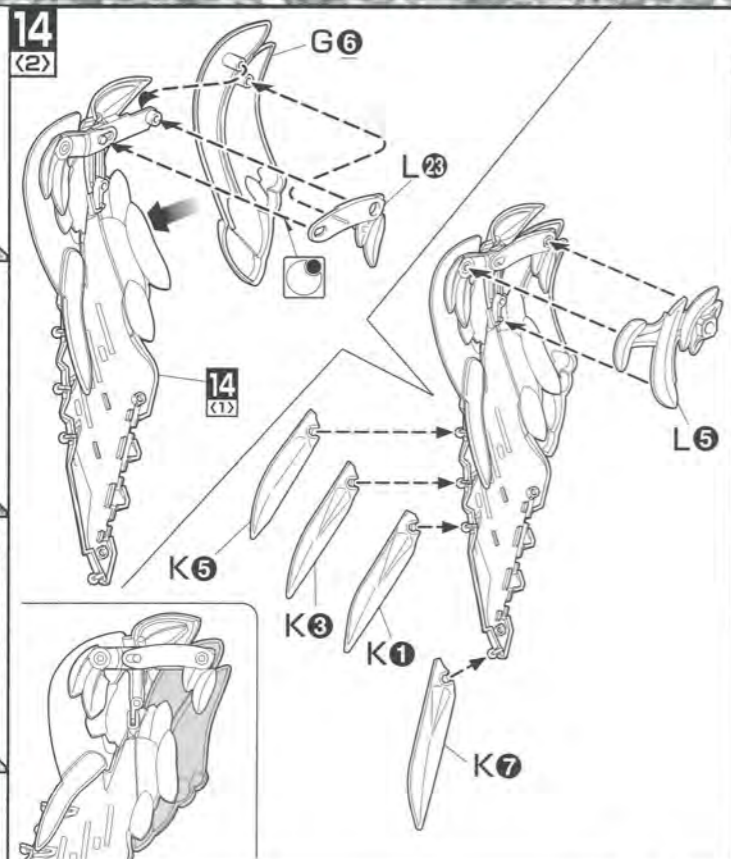


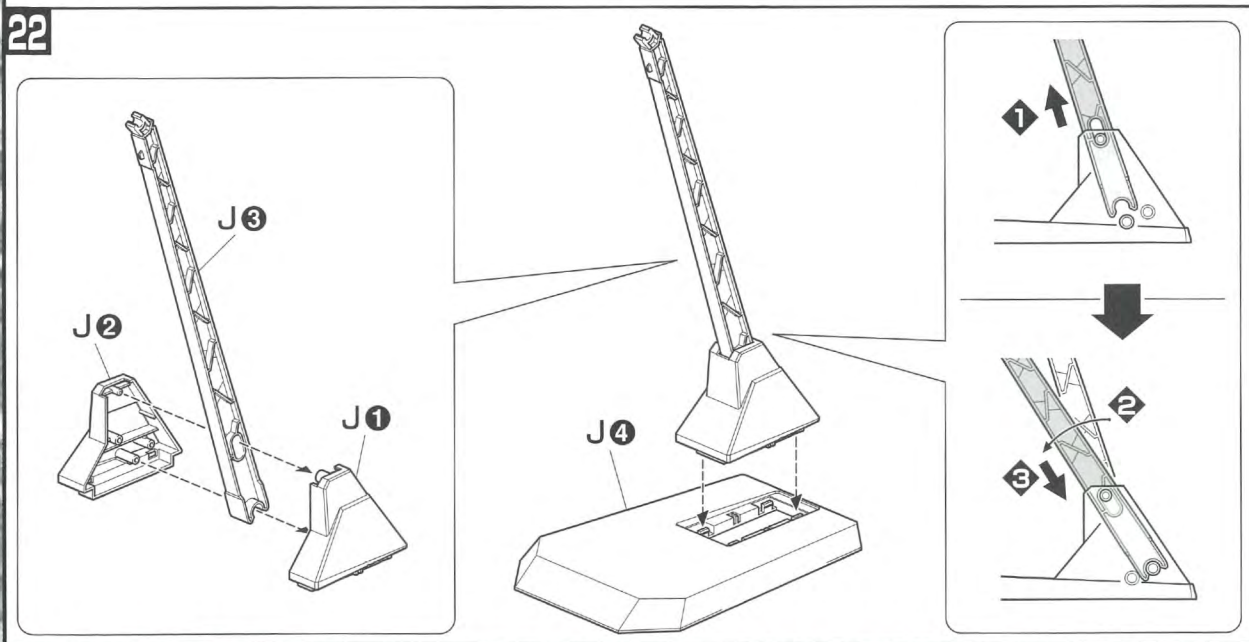
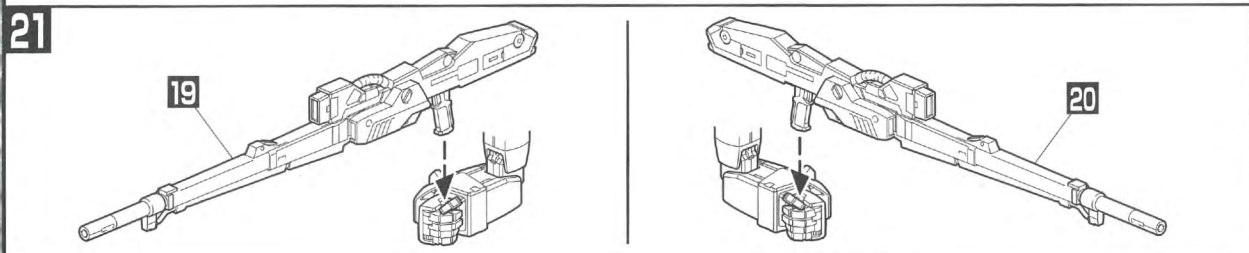
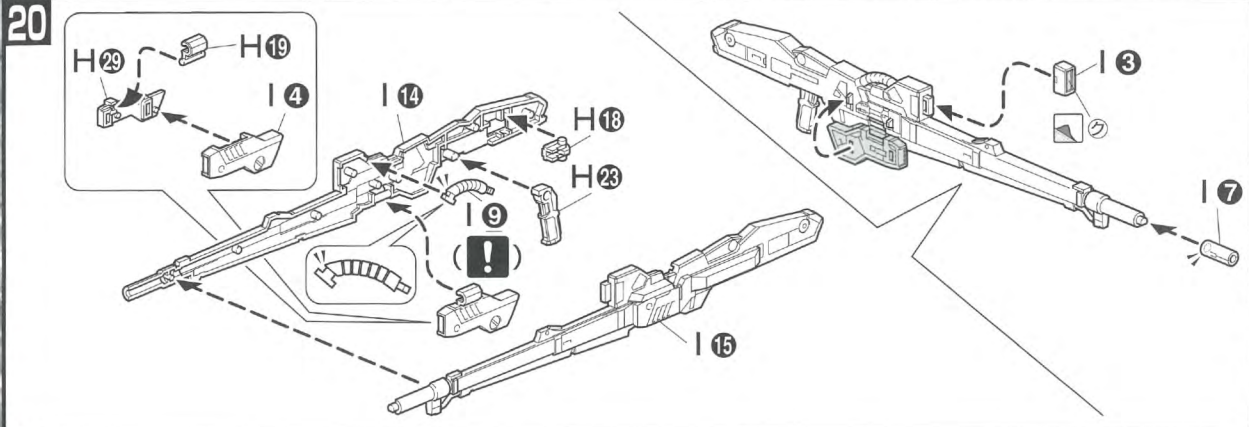
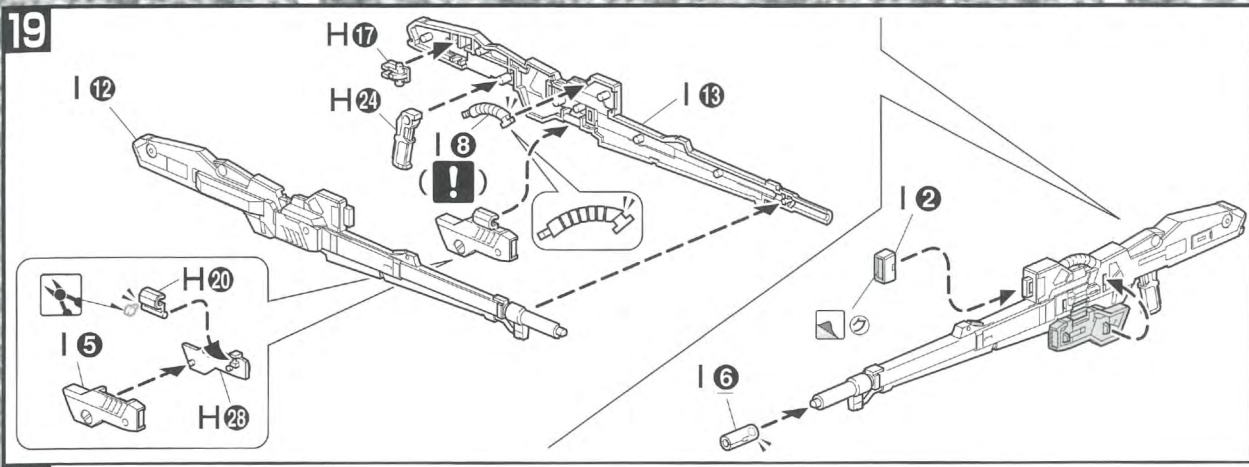
Parts Name  
Parts List  
Head & Body Unit  
Arm & Leg Unit  
Wing Unit  
Weapons  
Final Assemble



\*B28は好みの場所に飾ってください。







**Parts Name**

**Parts List**

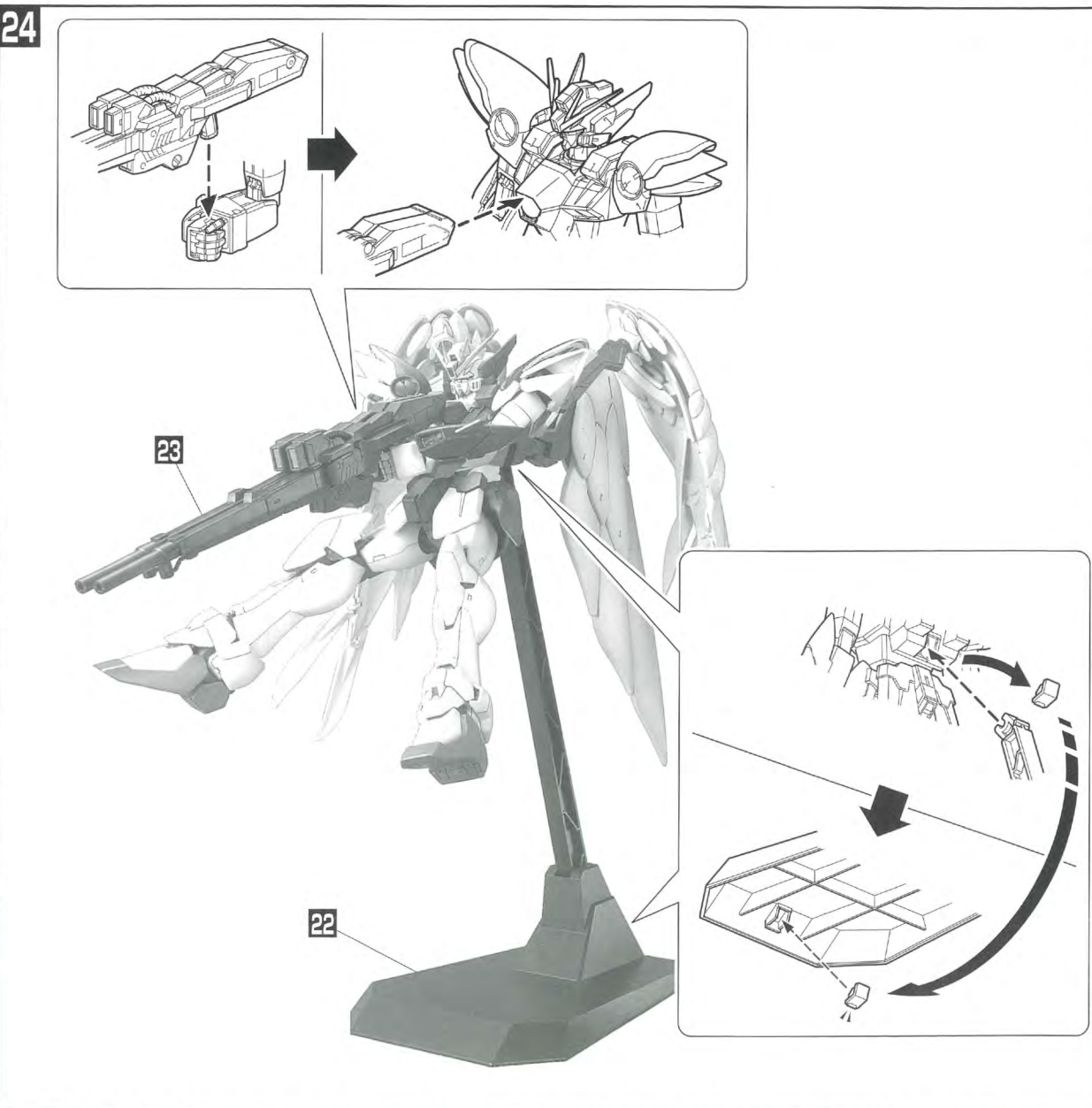
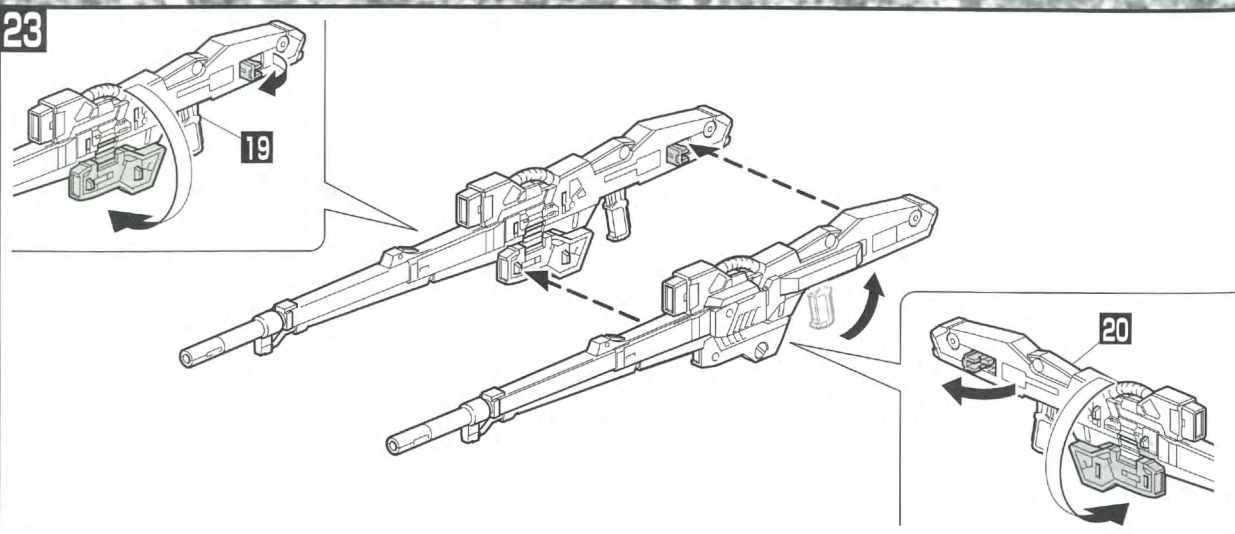
**Head & Body Unit**

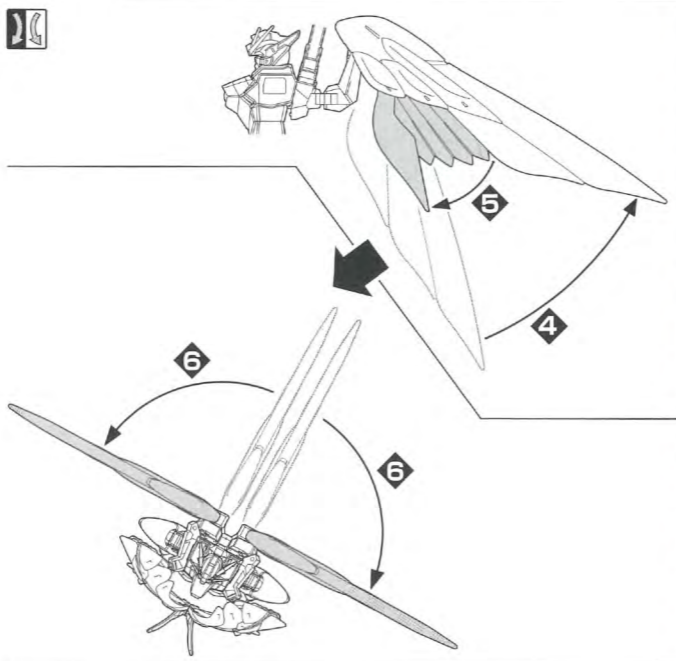
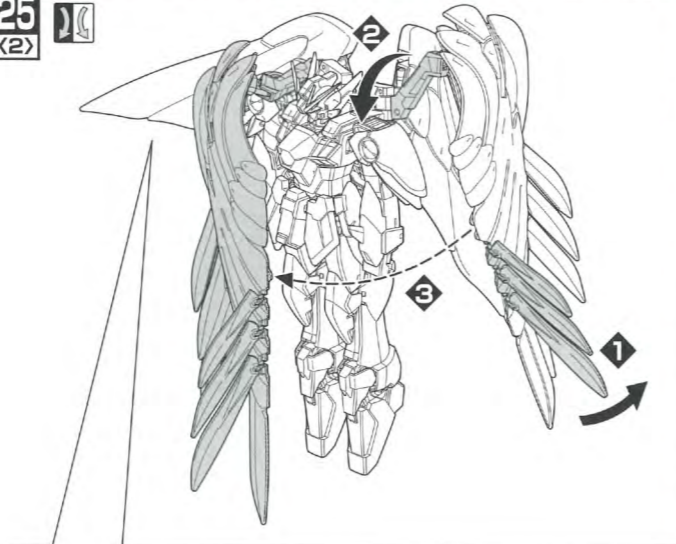
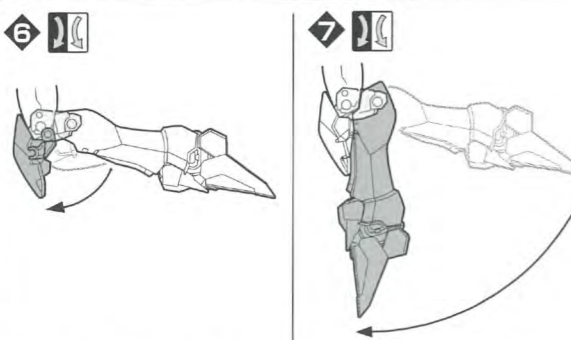
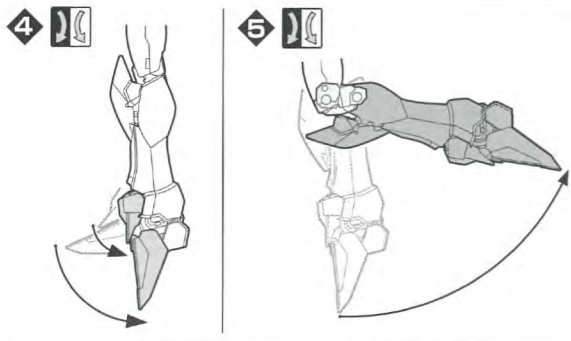
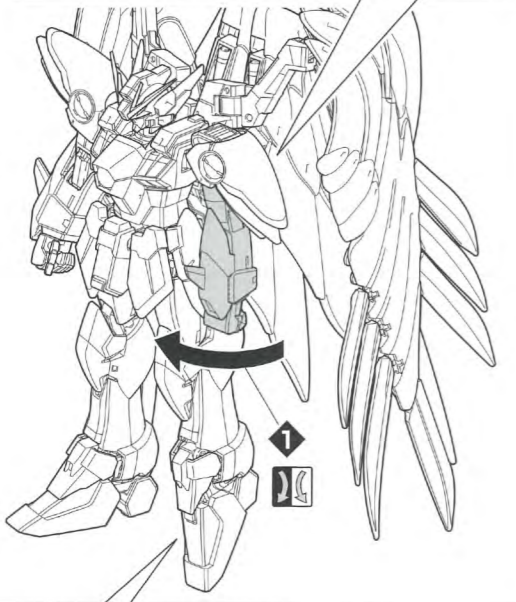
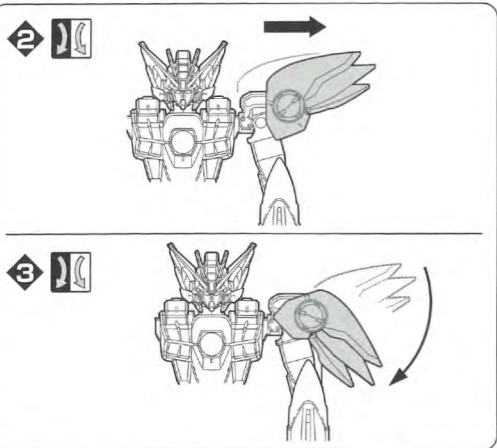
**Arm & Leg Unit**

**Wing Unit**

**Weapons**

**Final Assemble**





### Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの位置を確認してください。

- ガンダムデカールのほりかた。
1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
  2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
  3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。
- ※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。

このマーキングシール及びガンダムデカール指示は一例です。イメージに合わせておはください。

#### 翼、バックパック背面

